

発行日 2016年10月7日
改訂日 2016年10月7日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ベンリストッパー
 会社名 : 信越工業株式会社
 住所 : 新潟県長岡市西川口528
 担当部門 : 品質管理課
 電話番号 : 0258-89-2320
 FAX番号 : 0258-89-2880
 推奨用途及び使用上の制限 : PPバンド用プラスチックストッパー

2. 危険有害性の要約

有害性 : 生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。
 高温の溶融樹脂から発生するガスは、眼や呼吸器を刺激する恐れがある。
 環境影響 : 長期間分解しないため、環境汚染の原因となるが、水溶性は無視できるので、水生生物に対する毒性は弱いと思われる。
 物理的及び化学的危険性 : 通常の取り扱い条件下では安定である。
 高温加熱状態や発火点以上の状態では燃焼する恐れがある。
 【GHS分類】 : 上記記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。
 【GHSラベル要素】 : 該当しない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物
 化学物質名 : ポリプロピレン
 成分及び含有量 :

成分名称	含有量 wt. %	CAS#	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
ポリプロピレン	99	9003-07-0	(6)-402	-
添加物	1	非公開	既存	既存

4. 応急措置

吸入した場合 : 吸入した事例はないが、燃やした場合の溶融樹脂から発生するガスを大量に吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移ること。
 又咳、呼吸困難やその他の症状が出た場合は、医師の手当を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 高温状態の溶融物が付着した場合は、衣服の上から多量の水をかけ、十分に冷却し医師の手当を受ける。
 目に入った場合 : 危険な物質ではないが、眼球を傷つける可能性があるため、清浄な水で十分に洗い流す。
 飲み込んだ場合 : 危険な物質ではないが出来るだけ吐き出し、異常を感じるようであれば、医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 霧状水、泡消火剤(エアフォーム)、粉末消火剤等
 消火方法 : 適切な消火剤を使用して、消火する。
 火災時の特有の危険有害性 : 火災条件下で熱分解や不完全燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素等ガスや黒煙が発生する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業をする者は、防火服と呼吸器具を着用する。

6. 漏出時の措置

: 掃き集める等の掃除を行い、リサイクル用容器や廃棄容器等へ回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 運搬時、急な持ち上げ動作をしない。
 ストッパーの足をねじったり、何度も折り返さない。
 ストッパーにあったPPバンドを使用する事。
 規定の強度、融着強度以上の荷重が加わると切れて梱包物が落下する事がある。
 保管 : 保管場所では、高温物、火気に近づけない。
 ストッパーで梱包された梱包物は-20～50℃の雰囲気温度で流通、保管する。
 直射日光の当たらない冷暗所に保管する。
 紫外線による樹脂の強度劣化が考えられますので、梱包物はあまり長期間直射日光に当たらないよう留意する。特に夏場或はそれ以外の時期でも紫外線の強い場所では直射日光を避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 該当しない。
 許容濃度 : 該当しない。
 設備対策 : 該当しない。
 保護具
 呼吸器用の保護具 : 必要ない。
 手の保護具 : 必要ない。
 目の保護具 : 必要ない。
 皮膚及び身体の保護具 : 必要ない。

発行日 2016年10月7日
改訂日 2016年10月7日

安全データシート

9. 物理的及び化学的性質

形状 : 樹脂成型品
臭い : ほとんど無臭
融点 : 150-160°C
自然発火温度 : 280°C以上
比重 : 0.89-0.92(23°C)
溶解性 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 : 一般的な貯蔵、取扱いにおいては安定で、反応性はない。
可燃性 : あり(消防法指定可燃物)
発火性 : 自然発火性、水との反応なし。
避けるべき条件 : 高温、高湿雰囲気下での保管を避ける。火源との接触を避ける。
危険有害な分解生成物 : 燃焼時、一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素及びその酸化物。

11. 有害性情報

皮膚腐食性 : 知見なし
刺激性 : 知見なし
感作性 : 知見なし
急性毒性 : 知見なし
慢性毒性 : 知見なし
発ガン性 : IARCの発がん性区分でグループ3(ヒトに対して発がん性に分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性 : 知見なし
残留性/分解性 : 知見なし
生体蓄積性 : 知見なし
土壤中の移動性 : 知見なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って廃棄物処理業者、もしくは地方自治体が処理を引き受けている場合には、地方自治体に委託し処理をする。
焼却する時は、管理された焼却設備を用いて大気汚染防止法等に適合した処置で焼却する。

14. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件 : 水平な運搬台に荷崩れしないように積む。水濡れや乱暴な扱いはを避ける。
国連分類 : 該当しない。

15. 適用法令

消防法 : 指定可燃物(合成樹脂類 3,000kg貯蔵)
廃掃法 : 産業廃棄物、廃プラスチック類
労働安全衛生法 : 該当しない。
化審法 : 該当しない。
PRTR法 : 該当しない。
毒劇法 : 該当しない。

16. その他の情報

: 記載内容は現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しており、上記情報は新しい知見により改訂される事があります。又注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
上記内容は情報提供であって、保証するものではありません。